

阿知須仙在・引野・向井関集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

仙在 引野 向井関

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月5日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	3 経営体
個人	5 経営体

#### ○ 農地の集積面積

45.93 ha (区域内の農地面積49.6 ha、集積率92.6%)

### 4. 今後の地域農業の在り方

中心経営体への農地集積（分散錯圃解消のため、中心経営体間で農地を交換する場合を含む）を進め、経営の効率化をはかる

規模拡大意向のある農業者を新たな中心経営体として位置づけることの検討をおこない、担い手の確保に取り組む。

阿知須井関・杖川・野口集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

井関 杖川 野口

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月5日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	3 経営体
個人	3 経営体

#### ○ 農地の集積面積

8.43ha（区域内の農地面積58.5ha、集積率14.4%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

中心経営体への農地集積（分散錯圃解消のため、中心経営体間で農地を交換する場合を含む）を進め、経営の効率化をはかる

規模拡大意向のある農業者を新たな中心経営体として位置づけることの検討をおこない、担い手の確保に取り組む。

阿知須河内集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

河内

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月5日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	3 経営体

○ 農地の集積面積

17.12ha（区域内の農地面積35.5ha、集積率48.2%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

中心経営体への農地集積（分散錯圃解消のため、中心経営体間で農地を交換する場合を含む）を進め、経営の効率化をはかる

規模拡大意向のある農業者を新たな中心経営体として位置づけることの検討をおこない、担い手の確保に取り組む。

阿知須赤迫・浜表・岡集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

赤迫 浜表 岡

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月5日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	2 経営体
個人	5 経営体

#### ○ 農地の集積面積

41.75 ha (区域内の農地面積88.1 ha、集積率47.4%)

### 4. 今後の地域農業の在り方

中心経営体への農地集積（分散錯圃解消のため、中心経営体間で農地を交換する場合を含む）を進め、経営の効率化をはかる

規模拡大意向のある農業者を新たな中心経営体として位置づけることの検討をおこない、担い手の確保に取り組む。

阿知須旦門松・旦北・旦西・旦東集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

旦門松 旦北 旦西 旦東

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月5日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	2 経営体
個人	2 経営体

○ 農地の集積面積

25.45 ha (区域内の農地面積47.1 ha、集積率54.0%)

### 4. 今後の地域農業の在り方

中心経営体への農地集積（分散錯圃解消のため、中心経営体間で農地を交換する場合を含む）を進め、経営の効率化をはかる

規模拡大意向のある農業者を新たな中心経営体として位置づけることの検討をおこない、担い手の確保に取り組む。

阿知須岩上・岩辻・岩西前・岩前・岩西集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

岩上 岩辻 岩西前 岩前 岩西

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月5日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	3 経営体
個人	7 経営体

#### ○ 農地の集積面積

37.94 ha (区域内の農地面積61.5 ha、集積率61.7%)

### 4. 今後の地域農業の在り方

中心経営体への農地集積（分散錯圃解消のため、中心経営体間で農地を交換する場合を含む）を進め、経営の効率化をはかる

規模拡大意向のある農業者を新たな中心経営体として位置づけることの検討をおこない、担い手の確保に取り組む。

秋穂集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

大河内北、大河内南、天神町、浜中、北条、中条、井南、浜内、小浜、赤崎、日地、金山領、西青江、先青江、中道、花香、中津江、屋戸、浦東、祇園町、下村、中野南条、中野西条、中野東条、中野後条、中野北条

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月8日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	0 経営体
個人	12 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

33.68ha（区域内の農地面積284.7ha、集積率11.8%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

中心経営体に集積する場合は、既経営地近くを集積し、効率的な作業を行う。また、地域内の農業者の意向を確認し、地域経営の維持・活性化を図っていくよう協議していく。

秋穂天田集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

東天田、西天田、宮ノ旦

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月8日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	5 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

66.88ha（区域内の農地面積111.7ha、集積率59.9%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

中心経営体に集積する場合は、既経営地近くを集積し、効率的な作業を行う。

（農）ファームあまだは麦、大豆のブロックローテーションを行い、経営の安定を図る。

秋穂黒潟南、黒潟北、横浜、中野後条、中野西条、中野南条、西天田、秋穂二島惣在所集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

黒潟南、黒潟北、横浜、野後条の一部、中野西条の一部、中野南条の一部、西天田の一部、秋穂二島惣在所の一部

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月8日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	3 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

44.84 ha（区域内の農地面積138.6 ha、集積率32.4%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

圃場整備により整備されたまとまった農地を集積し、土地利用作物型並びに野菜栽培の複合化に取り組む。また、農地を集約することで低コスト化による経営安定を図り、地域営農の維持、活性化を図る。

小郡岩屋、八方原集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

岩屋、八方原

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月7日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	2 経営体
個人	0 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

32.04 ha（区域内の農地面積39.8 ha、集積率80.5%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

中心経営体への農地集積を進め、作業の効率化により低コスト化を図る

秋穂二島（柵宜）集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

柵宜集落

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年2月25日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	0 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

24.76 ha（区域内の農地面積29.5 ha、集積率83.9%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

農事組合法人「柵崎の里」では、肉用牛繁殖、柑橘の生産、野菜の生産、加工、直売所にて規格外野菜の販売を行う。

山口型放牧を利用して集落内の耕作放棄地の解消に努めていく。

機械の導入により低コスト化をはかっていく。

秋穂二島（惣在所・南）集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

惣在所・南集落

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年2月25日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	0 経営体
個人	8 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

20.65ha（区域内の農地面積83.9ha、集積率24.6%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

南（幸崎）地区は野菜栽培が盛んであり今後、野菜の加工販売を検討されている農家さんもおられ、将来的には安定した所得に繋がる可能性がある。

新規就農の受入促進、土地所有者の意向を確認しながら、耕作放棄地となる前に農地中間管理機構を活用し利用権設定する。

地域内では圃場整備を希望される声も出ており、将来的に法人設立も考えていかなければならない。

陶糸根、中河原、立石、潟上、市、郷上、郷下、西陶、丸尾上、丸尾東、丸尾北、丸尾沖、沖集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

糸根、中河原、立石、潟上、市、郷上、郷下、西陶、丸尾上、丸尾東、丸尾北、丸尾沖、沖

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月7日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	3 経営体
個人	13 経営体
集落営農（任意組織）	2 組織

#### ○ 農地の集積面積

19.4ha（区域内の農地面積200.1ha、集積率9.7%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

農地中間管理機構を活用して担い手となる中心経営体へ農地集積を図り、経営の複合化・低コスト化を目指す。

農地の所有者の中間管理機構の貸出希望申請により、耕作放棄地となる前に担い手に利用権設定する。

農地所有者の合意が達成された、圃場整備計画を推進する。

秋穂二島（上田・大里・二島）集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

上田・大里・二島集落

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年2月25日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	0 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

135.92ha（区域内の農地面積147ha、集積率92.5%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

農事組合法人「二島西」では、水稻、飼料用米、麦、飼料作物、大豆、露地野菜等の複合化経営を行いながら、規模拡大、低コスト化に取組み経営の安定化を図る。

農事組合法人「二島西」では、構成員の高齢化に伴い、後継者の確保、育成が重要な課題となっていることから、組合員と協議を進めていく。

6次産業化への取組みを行っていく必要性を検討しており、独自性、ブランド化の研究について、今後組合内で慎重に協議を行う。

秋穂二島（幸田・仁光寺）、秋穂西（宮之旦の一部）集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

秋穂二島幸田、仁光寺集落

秋穂西宮之旦の一部集落

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年2月25日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	0 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

73.55ha（区域内の農地面積74.7ha、集積率98.5%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

農事組合法人「二島東」では、水稻、麦、露地野菜の複合化経営を行いながら、規模拡大、低コスト化に取り組む経営の安定化をはかる。

構成員の高齢化による、後継者不足が懸念されるため、後継者の確保について組合員と協議を進めていく。

吉敷（吉敷畑）集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

吉敷畑

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月11日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	0 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

15.79ha（区域内の農地面積19.0ha、集積率83.1%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

今後、法人所有機械を整備し、コストの低減を図るとともに、今後もオペレーターの育成、確保に努める。

また、吉敷地区内の農業・個人農家の営農継続の視点から、集落以外の個人農家から基幹作業を中心とした作業を受託する。

吉敷（中尾）集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

中尾西・中尾東上・中尾東下

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月13日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	0 経営体
個人	10 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

14.50ha（区域内の農地面積54.0ha、集積率26.9%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

今後も、市の遊休農地化防止事業で導入した機械を活用し農地の保全を行う。

中心経営体においては、耕作条件の良い農地については、集積の意向はある。

大歳集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

富田原・今井・上湯田・上矢原・中矢原・下矢原・下湯田・黒川市・岩富・坂東・勝井・高井・三作・和田・朝田・馬庭・河内・阿仙原

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月13日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	0 経営体
個人	1 経営体
集落営農（任意組織）	1 組織

#### ○ 農地の集積面積

6. 67ha（区域内の農地面積108.0ha、集積率6.18%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

地域環境を維持するうえで地域の営農の継続は重要であり、地区内においては中心経営体として位置づけた認定農業者・受託組合を核にして、水稻を中心とした営農活動を継続する。なお、平成27年に設立した受託組合においては、法人化について継続して検討する。また、主要機械（田植機・コンバイン・トラクター等）を持たない農業者については、中心となる経営体への基幹作業の委託や地区内にある個別乾燥可能なライスセンター（大歳農業機械利用組合）を活用しながら、営農を継続し地域農業を維持する。

鑄銭司(ほ場整備エリア)集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

畑、西ノ浴、扇田、和西、小森の一部、岡の一部

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月12日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	2 経営体
集落営農(任意組織)	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

28.3ha(区域内の農地面積80.6ha、集積率35.1%)

### 4. 今後の地域農業の在り方

圃場整備により、整備されたまとまった農地を集積(エリア内の85%以上を集積予定)し、土地利用型作物並びに野菜栽培の複合化に取り組む。また、農地を集約することで低コスト化による経営安定を図り、地域営農の維持、活性化を図る。

鑄銭司集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

黒山、大円、鷹ノ子、天神原、河原、今宿東、今宿西、道の上、大村、上辻、四辻、南

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月12日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	0 経営体
個人	4 経営体
集落営農（任意組織）	1 組織

#### ○ 農地の集積面積

5. 44 ha（区域内の農地面積158 ha、集積率3.4%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

農地中間管理機構を活用して担い手となる中心経営体へ農地集積を図り、経営の複合化・低コスト化を目指す。

農地の所有者の中間管理機構の貸出希望申請により、耕作放棄地となる前に担い手に利用権設定する。

小鯖14区～18区集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

小鯖14区、小鯖15区、小鯖16区、小鯖17区、小鯖18区

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月28日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	1経営体
個人	4経営体
集落営農（任意組織）	0組織

#### ○ 農地の集積面積

42.81ha（区域内の農地面積60.8ha、集積率70.4%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

中心経営体は、地区内の農業者の協力により、優良農地の集積や作業受託を行うことで低コスト化による経営安定を図る。

法人は構成員等から農地を集積し、経営規模の拡大を図る。水稻・麦による土地利用型農業を中心に経営を進める。

天花集落において、人・農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月31日

山口市長 渡辺 純忠

## 記

### 1. 会合の対象とした区域

天花畑、天花

### 2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月12日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### ○ 経営体数

法人	5 経営体
個人	0 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

#### ○ 農地の集積面積

3.62ha（区域内の農地面積7.6ha、集積率4.8%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

認定農業者は、施設野菜、露地野菜により高付加価値化を図る。  
地区内の農業者の協力により、地区内の農業者が耕作出来なくなった農地については、耕作放棄地とならないよう努める。また、優良農地の集積や作業受託を行なうことで低コスト化により経営安定を図る。